

# 令和5年度 放課後子ども教室運営委員会

## 会 議 録

日時 令和6年1月24日（水） 午前10時から

場所 清須市役所 北館2階 第1・2会議室

清 須 市 教 育 委 員 会

## 会議出席者

令和5年度清須市放課後子ども教室運営委員会会議録		
開催年月日	令和6年1月24日(水)	
開催場所	清須市役所北館2階第1・2会議室	
会議時間	午前10時00分～午前12時00分	
出席委員	小学校長代表	海川 覚
	児童福祉担当	山田 眞己人
	保護者代表(西枇杷島地区)	林 まゆみ
	保護者代表(古城地区)	古賀 香
	保護者代表(清洲地区)	奥村 愛子
	保護者代表(清洲東地区)	高柳 仁栄
	保護者代表(星の宮地区)	寺西 梨沙
	保護者代表(桃栄地区)	久田 智恵
	保護者代表(春日地区)	小山 花奈
	西枇杷島放課後子ども教室指導員	伊藤 高善
	西枇杷島放課後子ども教室指導員	石原 正治
	古城放課後子ども教室指導員	伊藤 邦彦
	清洲放課後子ども教室指導員	太田 慎一
	清洲東放課後子ども教室指導員	加藤 仁
	新川放課後子ども教室指導員	水野 史雄
	星の宮放課後子ども教室指導員	大島 博
	桃栄放課後子ども教室指導員	吉田 雅彦
春日放課後子ども教室指導員	白鳥 弘恵	
欠席委員	保護者代表(新川地区)	近藤 春華
事務局	教育長	天竺 幸治
	教育部長	石黒 直人
	学校教育課長	瀬尾 光
	学校教育課課長補佐	小崎 充代
	学校教育課主事	窪田 有沙
議 題	1 放課後子ども教室の現況について	
	2 令和6年度放課後子ども教室について	
	3 その他	
備 考	傍聴者 なし	

はじめに

瀬尾課長

おはようございます。定刻となりましたので、只今から令和5年度放課後子ども教室運営委員会を始めさせていただきます。皆様におかれましては、大変お忙しい中、当運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。私は本日の進行を務めさせていただきます学校教育課長の瀬尾と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本会議は、清須市附属機関等の会議の公開に関する要綱の規定による公開会議となります。

それでは、開会にあたりまして天竺教育長よりご挨拶をさせていただきます。

教育長 あいさつ

天竺教育長

改めまして皆様おはようございます。本日はご多用の中、また雪模様の中お越しいただきまして、ありがとうございます。

また日々、放課後子ども教室の運営にご尽力いただきまして、重ねてお礼を申し上げます。

本日はこの1年の各教室のご報告や、保護者の代表の皆様方からのご意見、それから次年度に向けての課題等を事務局とともに交流したり、共有したりする、そういう場でございますが、私としては、先生方、スタッフの皆様方へのお礼を申し上げる機会とも考えております。

本当に日々ありがとうございます。

昨年も申し上げましたが、毎月、各教室の方からいただきます日報がございますが、本当に拝見させていただきながら先生方、スタッフの皆様方が、本当にきめ細やかなご配慮、それからご対応をいただいているのを実感して、本当に感謝の気持ちでいっぱいでございます。

またいわゆるコロナ禍も一段落したとはいうものの、今、インフルエンザも含めまして、引き続き感染症対応にも大変ご尽力をいただいております。重ねて感謝申し上げます。

この後各教室からのご報告もございますが、子供たちの活動の様子や課題等も交流をいただきまして、今年度のまとめとともに、教育委員会としましても、次年度への課題の共有とさせていただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

最後にお詫びですが、本日同時刻に市の防災関係の会議が行われておりまして、この後退席をさせていただきます。誠に申し訳ございません。よろしく願いいたします。

瀬尾課長

ありがとうございました。天竺教育長は、他の公務がありますので、ここで退席となります。

次に本日まで出席いただいています委員の皆さんの自己紹介ですが、名簿と配席表をもって代えさせていただきますのでよろしく願いいたします。

なお、新川の保護者代表・近藤様からは欠席のご連絡を受けておりません。

## 議題

瀬尾課長

それでは、議題（１）の放課後子ども教室の現況について事務局から説明をさせていただきます。

窪田主事

放課後子ども教室の現況について、説明させていただきます。

現在、清須市では令和元年度から市内すべての小学校にて、放課後の子どもたちの居場所づくりを確保することを目的として、余裕教室や体育館の部屋を使用して、小学校に通う１年生から３年生までの児童を対象に、学習・スポーツ及び伝統的な遊戯などを行い、放課後子ども教室を実施・運営しております。

放課後子ども教室は、平成２１年度に新川小学校及び春日小学校で開設し、令和元年度には清洲東小学校・星の宮小学校及び桃栄小学校の３ヶ所を開設して、市内全小中学校で放課後子ども教室を実施しております。

運営体制は、それぞれの教室において通常時コーディネーター１名と、補助員２名の計３名体制で運営しておりますが、参加人数が多い清洲東放課後子ども教室と春日小学校放課後子ども教室は、コーディネーター１名と補助員３名の計４人体制、清洲放課後子ども教室はコーディネーター１名と補助員５名の平均６名体制で運営しております。

参加者が多数になると思われる日、例えば一斉下校日、保護者懇談会の日には、子どもの行動が目に行き届くよう、補助員を増員して安全性を重点に置き対応しております。

続きまして資料１をご覧ください。

今年度の利用登録者数は、１２月末現在で１０３２人、平均利用者数は教室によって差はありますが、最小で１５人、最大で７８人です。

先ほど申しあげましたように、学校の行事などの日によっては、多いところで利用者は１３０名のときもあり、対応に苦慮しているところでもあります。

各教室の事故によるけが等の状況ですが、12月末現在で、けがで傷害保険を利用した利用者が2件ありました。

内訳といたしましては、11月、西枇杷島にて左手人差し指の捻挫、清洲東にて左目の打撲がありました。続きまして、平成30年度から5年間、新放課後子ども総合プラン事業の一環として、児童館で実施している放課後児童クラブとの一体化、連携を実施して参りましたが、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症防止のために、放課後児童クラブとの交流はほとんどできておりませんでした。

今年度も再開のめどが立たず、放課後児童クラブとの交流ができませんでした。

最後になりますが各教室とも指導員の方々のご努力で工夫を凝らしたイベントなどを交え、一生懸命に取り組んでいただきまして、ありがとうございます。

今後とも引き続き子供たちの安全を第一にご指導よろしく願いいたします。

以上でございます。

瀬尾課長

只今、事務局から実施状況の報告をさせていただきました。続きまして、各コーディネーターの先生より、それぞれの教室の実施状況のご報告をいただきます。

まず、西枇杷島放課後子ども教室の伊藤先生からお願いします。

伊藤指導員

失礼いたします。おはようございます。西枇杷島放課後子ども教室伊藤高善と申します。指導員2名、石原と二人で、週3回は私が、週2回は石原という形で担当しております。よろしく申し上げます。

まず最初に、この大事な会議に遅れてきてしまい申し訳ありません。

私は名古屋から通っているんですけども、雪で20分近く遅れてしまいまして、大変申し訳ありませんでした。

それでは、西枇杷島放課後子ども教室の説明をさせていただきます。

運営委員会資料を見てください。かいつまんでお話をさせていただきますと思います。

2枚目の3番を見てください。

年間行事・工作などの計画ということで、大体月に1回または2回、工作を実施しております。

宿題をして、それからプレイルーム・スタディールーム等で子どもたち

が活動するわけですが、工作の方を優先して、月1回または2回という形でやっております。

子どもたちはとっても喜んでやっております。また達成感もありますし、今後も続けていきたいなというふうに思っております。

それから、その下の方にあります4番の子ども教室だよりというのを原則毎月発行して、保護者の方に活動の様子をお知らせするとともに、次の月の予定をお知らせしております。

最後はねていただきまして、最後のところは成果と課題ということで、②番にありますが、新型コロナウイルス感染が5類に移行しましたけれども、その後も、インフルエンザの感染流行等あるので、入室時の検温、手洗い指導の徹底等は、今後も引き続き行っていきたいと思っております。

それから、③の学習、読書対応はこれまで通り集中して、子どもたちの方は静かに取り組んでいるのではないか思っております。ちょっとわがままなところが出たりもしますけれども、その辺は我々が頑張っているとお話をしていきながら、静かにできる環境は整えてあげたいなと思っております。

④番です。工作は大変興味を持って参加しておりますので、今後もできるだけ多くの子に取り組ませたいと考えております。

それから⑤番です。今年度、私伊藤とそれから石原の2人が新しく赴任して参りましたので、やはりわからないことが多々ありました。

ただ、補助員の方たちがベテランの人たちがとても多く、いろいろとこちらが教えていただきながら進めているのが現状です。

うちは補助員の人数がたくさんいて、それぞれ週1回か、また2回勤務という形でやっておりますので、なかなか共通理解が図れない点がありますけれども、随時、連絡を取り合いながらやっておりますし、そこにありますように、7月20日に全員集まって話し合いの場を持ったりして、いろんな形で共通理解を図るように努めております。

それから⑦番です。子どもたちの仲間づくりの中で、規律を守ること、学習習慣の徹底化を常に課題として意識をしておるんですけど、なかなか難しいものもあります。

今後我々の指導者間の共通理解と、同時に小学校の方にも情報提供のほうを行ってきたいなというふうに思っております。

最後に要望としてということでちょっと挙げさせていただきましたが、1番のこと（本教室への出入り口は、冬になると帰るころには暗くて安全上の問題や施錠などに困ることがあるので対策をお願いしたい。）

につきましては、学校教育課の方でご努力いただきまして今現在、対策の方をしております。

2番目に挙げてありますこれ（教室内のカーペットは長期間にわたって使用してきている。毎日子どもたちが過ごす場所であるので汚れや衛生面での問題が心配される。市内の全子ども教室で共用して、定期的に掃除できる大型のカーペット洗浄機のようなものを購入していただきたい。）はこれまでもあったようすけども、衛生面のこともありますので、今後、できるだけできるような形でお願いしたいなというふうに思っております。

要望の3番目（あちこちの出入り口扉の鍵が不具合で、開閉にとっても手間取っている。学校にお願いして手直ししてくださっているが根本的な改善にはなっていない。施設面での不具合を善処していただきたい。）です。これを今現在やっております。

ということで、学校教育の方も連携をとりながら、今後も進めていきたいと思っております。

それから、我々自身も勉強だと思っておりますので、小学生の子どもたちと、よりよい関係を築けるように、今後とも頑張っていきたいと思っております。

以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。

本日お越しいただきました西枇杷島放課後子ども教室の保護者の代表林様、ご利用いただいているところでの感想やご意見などをお願いします。

林委員

西枇杷島放課後子ども教室の方でお世話になっております、林です。うちは上に兄がいて、5年間子ども教室でお世話になっております。2人とも、子ども教室に行くことをすごく楽しみにしていて、私、仕事をしていますので、5時いっぱいまで預かっていただいて、いつも先生たちにお世話になっております。

とても先生たちに優しく接していただいて、子どもたちはすごく先生がたがすごく大好きで、いつも楽しく通わせていただいています。

コロナ対策もしっかりやられているみたいで、安心して預けることができます。

いろんな工作やイベント等を考えていただいているので、それも楽し

みですし、さわやかプラザで体を動かして遊ぶことで、クラスとか学年を超えて顔見知りになったり、交流が生まれたりするのですごくいいなと思っています。以上です。

瀬尾課長

ただいま、5年間、楽しく優しく接してくれる先生方が、コロナ対策もしっかりしていただいて、安心して通わせることができるというお話をいただきました。

ありがとうございました

続きまして、古城放課後子ども教室伊藤先生お願いします。

伊藤指導員

失礼いたします。古城小学校の放課後子ども教室伊藤でございます。よろしく願いいたします。

資料に沿って説明させていただきます。

まず1ページですけれども、1、登録者数につきましては、全学年とも半数以上の子どもたちが申請をしております。次に参加者数につきましては、大体30前後でございます。ちょっと下の方に令和4年度とさせていただきましたけれども、すべての月で人数がアップしているということで、コロナもあったということだけではなくて、保護者の要望も需要も多いのかなと思っております。

3番の通常時の活動ですけれども、子どもたちは、授業が終わりますと、放課後子ども教室の方へ来て、まず勉強や宿題をやる。宿題を見てもらった後、自由時間で遊んで保護者の迎えを待つ。

こんな1日を過ごしております。

2枚目に、その時の様子を載せさせていただきました。

勉強時間の様子、工作をやっている様子、友達と遊んでいる様子。

楽しそうに毎日遊んでおります。

3ページです。

懇談会など、下校時刻の早い時期がありまして、そんな日につきましては、例えば、(1)、1月の個別懇談会ときには、50人前後です。非常に長い間放課後におりますので、普段とは違って、いろんなイベントをしております。

或いは、イベントの1つとして、読み聞かせグループの「ぱびぷぺぼ」というボランティアグループに来ていただいて、紙芝居や大型絵本の読み聞かせ、こんなこともしております。

(3)の2学期の個別懇談会につきましては、3年生の参加者数に「0・0・0」というふうにありますけれども、学級閉鎖がありまして、

3年生がこなかったというような状況で人数も少なくなっております。

4ページをご覧ください。

懇談会の子どもたちの様子です。

普段とは違って、体育館を使って運動をしたり、クリスマス会を行いました。

5ページをご覧ください。

「壁面飾りと工作」とさせていただきましたけど、古城小の特色として、春夏秋冬、それぞれの季節にテーマを決めて、先生たちも壁面の工作を作る、子どもたちもそれぞれのテーマで工作を作る、こんなことをしております。

最後に成果と課題ということで、コロナは収まってきたんですけども、インフルエンザの流行ということもありまして、手洗い、消毒、窓の開放、教室・トイレの消毒。こういったことについては、コロナの時と同じような形で今年度も続けてきております。

おかげさまで事故等もなく、学校、それから、教育委員会の、或いは保護者のご理解によりまして、順調に進めてくることができました。

(2)です。今日一番お願いをしたいことなんですけども、本校は教室が1つしかありません。人数が今年度かなり増えてきてまして、1部屋で、1年生は先に下校して勉強を終えて、遊び始める。そこへ3年生が来ると、3年生が勉強をやるスペースが大変困っておったんですけども、教室の隣に倉庫がありまして、その配置をちょっと変えて、中に机を3つ並べて、3年生がそこで勉強だけする。エアコンも何もついていないんですけども、そんなような形で、教育委員会・学校にもお願いし、進めることができました。大変助かっております。

要望として、もし予算を組んでいただけるようであれば、そこについてを置くなり、ちょっとカーペットをしくなりしていただけるとありがたいな、そんなことを要望という形でお願ひしたいと思ひます。

(4)です。コロナも収まりましたので、来年度は外部講師の方もお願ひをして、子どもたちが楽しめる教室にしていきたい。そんなことも思っております。

(6)ですけども、学校のご理解もあつて、子どもたちの様子について先生に相談したり、先生にお尋ねしたり、また保護者にお伝えしたりと、そういった情報交換がきちんとできたのではないかなということになっております。

今後とも、一生懸命頑張つて、教室運営していきたいと存じております。

よろしくお願ひいたします。

瀬尾課長

ありがとうございました。

古城放課後子ども教室の保護者の代表古賀様、ご感想やご意見などをお願いいたします。

古賀委員

古賀と申します。よろしくお願ひいたします。

上の子が5年生で、下の子が3年生になります。

上の子が1年生のときから5年間お世話になりまして、あと2ヶ月で終わってしまうので、私の方がちょっと寂しいなと思っております。

古城小学校の放課後教室は、資料にもありました通り、壁面工作を季節ごとにやったださるので、今年度ハロウィンとかクリスマスとか、かなり豪華な壁面工作が飾ってあって、お迎えに行くとみんなの作品を見るのですが、廊下の両側にびっしり貼ってあって、上の子が1年生のときよりも大分子どもが増えたなという実感はあります。

3年生になると、古城小学校の放課後教室の参加者数は1日5、6人程度になるんですけども、うちの子どもたちは本当に放課後子ども教室が好きで、よく参加させていただいて、いろんな遊びを教えていただいたり、他の学年の子と交流させていただいたりして、とても楽しく過ごさせてもらいました。

去年も私はこの場において、予算を知っているので、クリスマスのイベントとか作品を見たりすると、よく少ない予算で、これができているなと本当に感心するばかりで、先生たちには頭が下がります。

これから先、働くお母さんが減るってということはないと思いますので、それに準じて放課後子ども教室を利用するお子さんが増えていくと思います。

1年間たった500円で、5年間も通わせていただいた私がいえることではないかもしれませんが、活動場所の広さとか、予算をもう少し余裕を持っていただけると、先生方のご負担が減るのではないかなと思っております。ご検討いただければと思います。

以上です。

瀬尾課長

今古賀様から、少ない予算で、先生方は本当に一生懸命やってくれているという褒めの言葉と、学校教育課には、もうちょっと予算をふやして、余裕を持った経営をしてほしいというご意見をいただきました。予算についても、これから少しずつ検討していきたいと思っております。

ありがとうございました。

続きまして、清洲放課後子ども教室太田先生お願いします。

太田指導員

お願いいたします。

1 ページ目の表紙を見ていただきますと、これは、1 2月個人懇談会の折のかるた取りの様子です。学年ごとにやりました。これは1年生です。真ん中の子が読んで、周りの子が取ってという形で、かるたをやっています。

清洲放課後子ども教室では、3つのねらいを設けています。

1つ目は、学習の意欲を高める。

2つ目は、自由な遊びを通して、自分で考え行動する力を伸ばす。

3つ目は、異学年との交流によって社会性や協調性を養う。

としています。

ページをはねてください。

上の方には月別の来室者数が載せてあります。

見ていただくと、前年比ずっとプラスで来ていまして、10月のみマイナスになっているんですが、10月は1年生がインフルエンザで学年閉鎖。それから、3年生が学級閉鎖でそれが終わったなと思ったらまた1年生が学級閉鎖で、この月だけマイナスになっています。

それでも昨年に比べると、平均10人近く多く来ています。

資料2を見ていただきますと特別活動日の来室者数が書いてあります。

1学期は最高130人。2学期でも最高116人ということで、正直、遊ぶスペース、それから勉強のスペース、ロッカーのスペースも限界です。もう荷物を置くところがなくて、廊下とか、そういったところに置かさしていただいております。

3ページをご覧ください。

活動の状況なんですが、先ほどお話があったように、うちもコロナと全く変わらず、毎回消毒、子供が来る前に消毒をし、さらにそのあと水拭きをし、それから子供たちが帰ったら、また水拭きをし、というような形でやっております。

写真を見ていただきますと手洗いと書いてあるんですが、清洲小の体育館の方には、手洗いの場がないんですね。トイレしかないのですが、トイレもしか手洗いの場が2つしかないんです。です。ので学校の校舎の方をお借りして、手洗いに行っております。

それからその右側、1月22日、今日の予定ということで書いてある

んですが、見ていただきますと子どもたちが早く来ています。学校で会議がありまして、2時10分に下校、時々こういうときがあるんですけども、この日を見ていただけますと、何もイベントもないんですね。

イベントも何もないんですけども、子どもたちは、今週の月曜日には90人来ました。

工作をやるっていうときなんかは、子どもたちがすごく多く来るんですけども、何もなくても90人。それが現状です。

宿題をやったら指導員に見ていただき、終わればこちらが用意した学習プリントをやります。

というのは、同じ学年でも、クラスによっては今日は宿題がないようだとか、もう宿題終わっちゃったとか、でもよそのクラスは宿題がまだあるということもあり、そうすると遊んでしまうので、その時間の調整のためにやっています。

それから以前に、うちも1つの教室で1年から3年までやっていました。そうすると、先ほどの伊藤先生のお話にもありましたが、1年生が来ても宿題が終わって遊んでいる、その後に2年生・3年生が来て勉強をやるっていうのはちょっと難しいので、そういう場合も考えて学習プリントをやらせています。

それから、その下の写真を見ていただきますと紙芝居なんですけど、指導員による大型絵本や紙芝居を毎週火曜日行っています。

それとあとは工作なんですけど、もうこれは非常に子どもたちも楽しみにしております、毎月1回工作を実施いたしております。

次のページをご覧ください。

この写真も工作でストロー飛行機を使って遊んでいるところなんですけども、非常にうれしそうな顔をしております。

基本学習の時間が終われば、子どもたちにとっては、自由な遊びの時間です。これをやりなさいだとか、これをしなさいというような強制は一切ありません。それが子どもたちにとっては非常に魅力的な場所になっていると思います。

体育館が使えると、3年生が2年生1年生のチームとドッジボールをしたり、追いかけてっこをしたりしています。もちろんいいことばかりではなくて、トラブルも毎日あります。決して無風の温室ではありません。

でもそういった経験をする中で、子どもたちは、コミュニケーション能力、それから自分で解決する力を養っていくと思っております。

次のページをご覧ください。

先ほど申しましたが、1日最高130人も来ると、1学期の懇談会の

時期は無茶苦茶暑いんですね、130人も来ると、もうとてもじゃないんですが、勉強する部屋が足りないんです。というわけで、1年生は先に体育館で遊ばせます。2年生・3年生がその時間に学習をすると、また今度は交代で1年生が学習する時間には2年3年が体育館で遊ぶんですが、なんせ暑いのですので、その暑いときに体育館の中で遊ぶっていうのも、結構リスクがあるなと思います。10分遊んだら水分補給して、ちょっと休憩をなささいというふうに配慮はしているんですけども、来年のことも考えると、また来年清洲小学校は1年生が6クラスということで、また増えるんですね。今、参加人数が平均78です。それをまた増えるだろうということを考えたときに、ちょっとやっぱり考えていただけるとありがたいかなというふうに思います。

それから放課後子ども教室の利用説明会をやっていただけたということで大変うれしく思います。というのは、1年生の保護者、初めての保護者の方にとっては、どうやって利用するのかっていう説明会がないと、とてもじゃないですがうちのように、45人も50人も1年生が参加するときに、お1人お1人に説明することはとても困難です。ですので、やっていただけたということをお聞きして、大変ありがたく思っています。

この写真は、6月と10月の工作の子どもたちの表情です。

工作は、子どもたちが次は何ができるのかと非常に楽しみにしております。弟や妹と一緒に迎えに来た場合は、お兄ちゃん・お姉ちゃんが作ったものを見て、弟さん・妹さんも「欲しい。」っていうような声をよくお聞きいたしております。

以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。

1点お聞きしたいんですけど、体育館での遊びでエアコンは使用しているんですか。

太田指導員

1学期の懇談会だけ学校にお願いしました。普段は使っていません。

瀬尾課長

わかりました。では学校さんに使えるように私の方からお願いさせていただきます。

太田指導員

清洲はあんなに大きい体育館なんですけれども、それでも使ってもいいんですか。

瀬尾課長	そうですね、もっと大きい体育館もございますので、大丈夫です。
太田指導員	そうですね、ありがとうございます。では遠慮なく使わせていただきます。これまで遠慮しておりまして、懇談会の時しか使っていなかったんです。
瀬尾課長	そうでしたか。すみません、もっと早く気がつけばよかったです。
吉田指導員	すみません、うちも使ったことがないんですけども、教育委員会から各教室にエアコンを使用していいと流していただきたいです。
瀬尾課長	わかりました。 ありがとうございました。 清洲放課後子ども教室の保護者の代表奥村様、ご感想やご意見などをお願いします。
奥村委員	奥村です。よろしくお願いします。 私は3年生と1年生の母です。 平日は16時まで仕事をしているので、ほぼ毎日利用させてもらっています。 コロナ禍でも清洲は利用者数の多い中、先生方にいろいろと感染対策をしてもらって、利用させていただきましてありがとうございます。 保険料だけで利用させてもらえるのでとてもありがたいです。 宿題をやる時間をとってもらって、そばで先生方に教えてもらったりしているので、助かっています。 放課後子ども教室で作成されている手書きのプリントがあつて、そのプリントの内容が、教科書にも沿っていて、そのときに習っているところのプリントをやらせてもらえるので、授業の復習になったり、テスト勉強になったりしていてとても助かっています。 子どもが家に帰って遊ぼうと思うと、各家を回って遊べる子を探さなければいけませんが、放課後子ども教室に行けば、たくさんの友達と遊べるため、子どももすごく楽しいそうです。 また他学年の子との交流もあり、それも嬉しいようです。 本やおもちゃの種類も多くて、外や体育館で体を動かして遊ぶ時間もあり、あとは空き箱などを使って製作遊びもできたりするので、毎日利

用しているうちの子も飽きずに、毎日楽しめています。

あとハロウィンやクリスマスなどのイベントのときにはそのイベントに沿った製作の遊びもしてもらえるので、家に帰って、飾ったり、遊んだりしていて、とても喜んでいきます。

あと、他に行くと、先生方に、今日はこんなことをしていましたよって教えてもらったり、勉強でこれができないので、こうした方がいいですよと助言をもらったり、先生方にいつも声をかけてもらえるのも嬉しいです。

まだ1年生の子がいますので、3年生の子はもう終わりになってしまうんですけど、1年生の子がまた3年生になるまで利用させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

瀬尾課長

ありがとうございました。先生方からの助言とか声かけが嬉しいということですので、これからもよろしく願いいたします。

続きまして、清洲東放課後子ども教室加藤先生お願いします。

加藤指導員

清洲東の加藤です。よろしく願いいたします。

資料を見ていただきまして、最初の写真ですけども、工作を教室でやって、何をやったかという、トルネードリングっていう、空飛ぶリングです。ジェット気流ともいうんですけども、簡単にできるんですよ。ちょっと写真にも写っています。これを、人数が一番多い7月7日に作って、それを飛ばしたということで、真ん中に飛ばすと、体育館の壁まで飛んでいくんですよ。子どもも喜んでおりました。

資料を1枚はねていただきまして、来室者数が去年と比べて約10名ほど増えました。これは1年生が増えたんです。平均1年生23となっていますが、去年14名だったので、この増えた人数が全体を押し上げたのかなと思います。

1枚はねていただいて3ページのところを見ていただいて、どこの学校も同じかと思いますが、宿題をやりプリントをやり、あとは自由時間にいろんなことをやっています。

ありがたいこととしては体育館に教室がある関係で、体育館が使えることです。部活動は週2回しかないんで、あとはすべて使えるということで、ただけがは体育館とか運動場で起こるので、そこに2名のスタッフを配置して、人数に応じて対策をとっています。

それから、火曜日には、皆様が楽しみにしているDVD話（日本の昔

話) をします。

毎日、僕の方から、世界のトップニュースの紹介をやっているんですけども、あまりにも世界のニュースが悲惨なニュースが多いので、どのニュースを選ぶのか、大変に思っております。あとスタッフの方で理科の先生もいますので、理科の話とか、クイズなんかもやってくれました。

今年特に変わったこととしては、藤井聡太さんが、将棋で素晴らしい結果で、将棋ブームが起きました。教室の方でも、将棋を取り組んでやっていて、将棋大会をやりました。

写真はその時の写真です。1年生が喜んで参加してくれました。やり方を覚えるとすぐできるんですね。優勝したのは2年生の子なんですけども、すごく熱中して、清洲市民センターの大人の大会でも優勝したって言っていたんですけども、それは本当かどうかわかりませんが、かなり月曜日にやってきました。いずれ清須の藤井聡太になるといいかななんて思っております。

最後に、今年少し増えて、来年も1年生が増える可能性があるということで、気を引き締めて取り組みたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。

清洲東放課後子ども教室の保護者の代表高柳様、ご感想やご意見などをお願いします。

高柳委員

高柳と申します。よろしく申し上げます。

私は3年生に息子がおりまして、一人っ子なんです。

うちではやっぱり親との関わりばかりで、子どもとの関わりをちょっと増やして欲しいなということと、私自身が働いていたのもあって、放課後教室の方を利用させていただいています。放課後教室では、学校から自宅に帰ったときのリズムみたいなものをちゃんとつけてくださっていて、宿題をやって、体育館や外遊びをして、その後ゲーム、のような、友達同士で遊ぶような形を作ってくださいで大変助かっております。

後は一人っ子ってこともあって、友達同士の関わりやけんかなど、ちょっとうちではできないことを、教室で宿題を一緒にやってけんかもやって遊びもやってっていうのをやらせていただいている、その時に例えば起きた問題とかも、ちゃんと報告をいただいて、どういうふうに解決したとかそういう報告をちゃんといただいている、ありがたいなと思っ

て利用させていただいております。

あとは私自身の子育てに関する悩みとかもあって、先生にちょっとぼろっと話したら、「じゃあそこを気にして見ていきますね。」と言ってすごく気にしてくださっていて、参加した日は毎回ではないんですけども、こういうことがあったよとか、アドバイスをいただけていますので、本当にありがとうございます。あと工作大賞とか塗り絵大賞とか、あとさっきお話出た将棋大会とか、そういうのを実際やったださっているんで工作に対する意欲もすごくありますし、塗り絵がすごく下手だったんですけども、本当にうまくなって、将棋にも興味なかったんですけど、本当に将棋が好きになって、何かちょっとした大会みたいなのにも参加するようになって、本当に新しいことにも取り組めるようになってるなというのを感じます。あと、先ほど世界のニュースを子どもたちにお話してくださっているとありましたが、子どもがびっくりするようなことをたまに話して、誰に聞いたのって聞くと先生に聞いたってというような報告もあったりしています。本当にありがとうございます。

働いているお母さんもですけど、働いてないお母さんも子どもとの関わりで結構悩んだりしていることが身近にもあるので、働いている方は児童館とかにもそういった相談の場をつくれるかなと思うんですけど、働いてないお母さんにもやさしいというか、とてもありがたい場であるので、ぜひ今後ともよろしく願いいたします。

瀬尾課長

ありがとうございました。放課後子ども教室を通して新しいことに取り組める、新しいことに興味を持つような場になっているという感想をいただきました。

続きまして、新川放課後子ども教室水野先生お願いします。

水野指導員

よろしく願いいたします。

月別の出席者数ですが、大体30人です。10月以降は、3年生が1クラス学級閉鎖になったり、インフルエンザが流行ったりして、学級閉鎖までいかなかったり、欠席者が増えているのではないかなと思います。登録者数は昨年よりも8人増えました。全体では1年生が大体50%、2・3年で残りの半分っていう形で来ます。

次、資料2の方です。

これは毎回、新1年生の方にお配りするもので、宿題についてのお願いということで、宿題はこうやっていますよということと、夏場は水筒の中身がなくなっちゃうということで、水筒は大き目のものを持ってき

てくださいというお願いです。

宿題に関するお願いですが、大雑把に言えば、一応中身を見ます。漢字や数字が丁寧に書けているかとか、そういったところは見ますが、中身に○はつけません。だいたい100点満点の形にして、返します。○は担任の先生につけてもらうという方針で、やっています。

それから資料3の方は、1週間の大体の計画です。

子ども用に作ったもので、まず木曜日は運動タイムということで、子どもは一斉下校でいなくなって、体育館はほぼ使えますので、体育館でドッジボールの遊びをします。1年生と2・3年生に分かれて2チームでやります。

今年のドッジボールは、1学期は2回ぐらいしかできませんでした。今年の1年生はとても上手ですね。なぜか上手にドッジボールをやります。1年と2年の対抗戦をやっているんですけども、2年生が負けるぐらい上手にやります。

おそらく2、3年生はコロナで、そんなにやってないんじゃないかなと思うんですね。1年生はコロナになった後に保育園に行っていますので、保育園でもそういう遊びをしていて、それで技術的に向上したかなというふうに思いました。

最後ですが、あと主な活動を書いておきました。

一応教室では静かタイムと自由タイムといった時間を設けています。静かタイムは宿題をやる時間で、先ほど言いましたように宿題が終わったら先生に見せて、中を確認するという形でやっています。1年生は早く終わりますので、全部終わったら、点つなぎとか、間違い探しとか、そういうプリントは用意してありますので、その都度、それを順番にやっています。

それが終わるころには、2年生の宿題が終わります。2年生の宿題の時間は長いので、ちょうどそれと両方が一緒になるっていう形でやっています。

自由タイムはそれぞれの遊びをやっています。最近レゴの組み立ての遊びとか、トランプ遊び、サッカーゲームができますので、そういうものなどを使って、迎えが来るまで遊んでいます。

それは一般的な毎日のパターンですけど、それだけじゃなくて5月には、1年生が来た後に歓迎会をやります。簡単ですけど、1年生にメダルみたいなものをあげるということで、次のページの左側の写真がそうです。2年生の子が1年生の子にペンダントを作って一対一で渡しました。それから自己紹介カードというのを作って、写真を入れて貼りました。

た。それらの中には、好きな食べ物、1年間で頑張ること、そういうのを一覧に書いてあります。大体、それを1年間終わったら持ち帰るということで、2月3月で全部持ち帰らせます。

先ほどありました、読み聞かせのボランティアの方も来ています。毎月第3月曜日を基本としていますが、この日が休みの場合は第2になったり第4になったりしています。これは大体30分から40分ですね、3人から4人の人に来ていただいて、絵本や紙芝居などをしてもらっています。

それから懇談会の3日目にビンゴゲームということで、ちょっとした景品を用意して、ビンゴになった人から順番に好きなものをもらえるというようなことをやっています。結構これは人気がありまして、出席率が高くなりますね。

1日目と2日目は大体ビデオを見てもらっています。

それから毎週木曜日はドッジボールを体育館でやっていますが、先ほど言いましたように1年生と2・3年生を分けてやっています。

それからキーホルダー作りということですが、昨日からやり始めまして、本当は3年・2年・1年という順番でやろうかと思ったんですが、2年生なんかは宿題の時間が長く、1年生は早く終わっちゃうので、1年生からやりまして、昨日は7人ほど完成しました。順番に、今日も明日もやると思います。ここに載っているのは去年の作品です。今年のはまだできていません。ただ、ちょっと間違えたなと思ったのは、今年のキーホルダーはちょっと大きめなんですね。この写真よりも大きくなります。これからさらに作っていきます。

そんな風に過ごしています。

以上です。よろしくお願いいたします。

瀬尾課長

ありがとうございました。

続きまして、近藤様が欠席ですので、星の宮放課後子ども教室の大島先生、お願いします。

大島指導員

星の宮の大島と申します。よろしくお願いいたします。

表紙の写真ですけど、体育館で門松を作ったのを載せました。ちょっとこれは1年生の方ですけど、そのあと2年・3年も写真を撮って、1年生を表紙にしました。

まず1ページです。

まず今年はですね、1年生の子がたくさん参加してくれまして、平均人数が昨年よりもずっと増えております。

やはり1年生の夏過ぎから習い事をする子がずっと増えてきてまして、平均して最低2つは習っている子が多いですから、多い子は4つ習っていると思いますので、特に2・3年生はグッと数が減ってきます。それでも、何とか放課後に来るといことでお母さんに言って、来ている子がいると非常にありがたいと思っております。

2ページ目を見てください。

特別活動の日の来室者数ということですが、すぐ隣の教室が2年1組ということで、何かあるときは教室が使えませんが、学校の体育館を使います。就学時健診の時には体育館も使ってしまうので、その時は2階と3階の特別教室に行って活動しております。子どもたちは教室でやるよりも、体育館とか特別教室とかこういうところが非常に好きですから、喜んでます。特に体育館のときは3年生もこのときだけは来るというのが、数名おります。

4番の活動の状況ですが、一斉下校・学年下校のときに、必ず私が行って、そこで子供を迎えます。そのときに、何か特別な事情があったときは担任の先生から、今日ちょっとこういうことがありましたからお願いしますということで事情は聞いております。

これが非常に大事なことじゃないかなと思っております。

それで教室で入ってくるときは、ただいまという声の子がちょっと増えてきました。最初はなんでただいまというの？という声が多かったんですけども、今は普通に言うようになってきております。

(3)のところのしずかタイムなんですけど、昨年まではもう学習タイムと言っていましたけれども、先ほど他の学校でもあったように宿題がない場合がありますので、それでも読書したりとか、或いは塗り絵をしたりして、それをしずかタイムということにしています。これも今年は30分ということでやっています。多分30分でもちょっと足りないかなという気持ちはしております。というのは、1年生は計算カードっていうものやって、それをずっと聞かないといけないわけですから、どうしても時間がかかってしまいます。30分は静かにして、後はそんなに邪魔にならないように、適当に遊びなさいということにしております。

ページをめくってください。

自由タイムのときはじゃあ何をやるかっていうと、黒板で絵を書いたりとか読書したりとか、それから特に女の子がそうなんですけど、いろ

んなものを作るんです。うちは昨年も一番人数が少なかったものですが、予算がぐんと減らされましたけども、いろんな空き箱とか、それから保護者の方が持ってきてくれるひもとか綺麗な布の端とか、それからトイレットペーパーの芯とか、そういうものを使って子どもたちは一生懸命作って、うまくできたときはお母さんに、「お母さんこれ作った」と言ってみせておきますので、非常にそういう点で保護者の方には助けられております。

また、時々数名で黒板に絵をかいて、子どもたちは消さないようにしてくださいと言うものですから、お母さんが来たときに「これ見てください。」と言って見てもらって、それから消したりと、そういう状況になっております。

それから、手作りコーナーですけども、私はほとんど関わってないんですけど、支援員の人たちが年に2〜3回集まって、そこで今度何やるかって決めて、最初は自己紹介カードを作りました。その後トイレットペーパーのてるてる坊主と折り紙の傘を作ったりしていました。それから11月には、クリスマスツリーづくり。それから12月には門松作りをしています。そういう状況です。

1ページめくっていただきまして、月に2回か3回は体育館を使わせていただきます。学校の方から冷房・暖房を使ってくださいと言われておりますので、本当にありがたく使わせていただいております。行く前にまず放課後の教室で集まって、そこで宿題をやって、どうしても遅い子がいるものですから、その時はもう30分過ぎてもできない子は、その子は残して私が残って、体育館に行って遊んでいます。そういう形でやります。

懇談会とか、そういうときにはすぐに始まるものですから、体育館の舞台の下から体育館の方へ長机を18脚出して、そしてそこで学習をします。終わったら玄関のところへ置いて戸を閉めて、体育館で遊ぶという形をとっております。このときはよく市役所に頼んでもう1人支援員の人を借りさせていただいておりますけど、ほとんど他の人たちも1時間ぐらい早めに来て、その日の当番じゃないんですけども、やって帰っていただいております。そういう点でも本当に支援員の方には、ありがたいなと思っております。

それから、夏祭りはもうずっと教室が始まった最初の年からずっとやっております。毎年大体ヨーヨー釣りとかいろんなものが少しずつ増えておりますけど、こういった状況です。

迎えに来たときにお母さんは下の子どもさんを連れて来ていますの

で、その時に一緒にやってもらって、ヨーヨーをプレゼントしております。

最後に運営の課題ですけれども、1つ困ったのは携帯電話で、基本体育館の場合、使えないんですね。だからちょっと調子が悪くなった時なんかは、教室まで戻って電話をかけるというそういう形にしていますけれども、その辺をちょっと、どういう対策したらいいかなと今考えております。

うちの学校は、子どもたちの1年と3年の壁が全くありません。これは星の宮小全体の特色なんですけれども、最初は1年生の入ったときからもう3年生と対等に話しています。だから、学年の関係は全くありませんので、一番力を持っているのは、1年生です。2年生になるとちょっと落ち着いて、また新しい1年生が今度は幅をきかせるという状況です。そういう感じは非常にいいなと、私は思っておりますので、今後ともそういった元気な子どもたちに育てて欲しいなと思っております。

以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。

星の宮放課後子ども教室代表の寺西様、ご感想やご意見などをお願いします。

寺西委員

星の宮放課後子ども教室でお世話になっております寺西と申します。

1年生と3年生の子供がおりまして、上の方が1年生のときからほぼ毎日学校に行ったときは、お世話になっております。

大島先生のお話にもありましたが、下の子と一緒に迎えに行ったときも、そこで作ったものとかをプレゼントしていただいたりとか、少し声かけていただいたりすることがすごく多いので、下にもまだ子どもがいるんですけど、今から小学校に行くことがすごく楽しみになっているところも、親としてはすごく嬉しいところです。

あとは、すごく助かっているのが、宿題を見ていただけるっていうところです。それはやっぱりすごく大きくて、仕事をしているので、帰りが5時過ぎになって、それから家のことをやったりするっていう中で、先生方に音読のサインまでしていただいて、計算カードも見ていただけているっていうところは、本当に親の心の余裕にもすごく繋がっていて、特に子どもが3人いるので、宿題を全員見ていくってなるとどうなっちゃうんだらうっていうのも思うぐらい、本当に先生には頭が上がりません。ありがとうございます。

あと工作に関しても写真にもありましたが、私は門松を持って帰ってきたときに、こんな立派なものを、すごいお金かけたんだなと思っていたのですが、いざ見てみると、ダンボールだったりとか、サランラップの芯だったりとか、針金だったりとかの廃材もうまく利用して作っていただいている、親としても本当にすごく勉強になるところは多いです。

実は100円ショップに行ったときに先生方をお見かけしたんですけど、皆さんで「これ使ったらいいんじゃない」と話し合いをされていて、さっき予算の話もお伺いしたので、もう本当にそういった中で工夫していただいているんだなっていうのが、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

要望としてもし1意見として言わせていただければ、今、清須市全体として3年生までっていう形になっているんですけど、それをもし6年生まで利用させていただけると、私はすごく嬉しいなと日頃思っているところです。

というのも清須市には児童センターっていうのがあって、利用できるシステムも大変ありがたいんですが、実は、上の子が1年生のとき、放課後は夏休みにやっていないので1度入れさせていただいて見ていただいたんですけども、どうしても運営の仕方が違って人数もすごく多いので、システムとか流れもどうしても集団行動っていうところもあり、子どもにとってちょっと合わなかったみたいなんです。子どもの個性もあるので上の子に合わなかったのかなと思いつつ、下の子も1年生のときにやはり夏休みに仕事していてどこかに入れないといけないのでお願いしたんですけども、やっぱり同じことを言っていて、もう児童館には行きたくないと2人に言われてしまっていて、なので上の子が3年生で終わった後は、どうしようかなっていうところがすごく悩みどころではあります。これはすごく大きな問題なのでなかなか難しいと思うんですけど、もし6年生まで利用できるシステムがあると、とてもうれしいです。

もしくは児童館の先生との話し合いもしていただいて、周りにちょっと聞いてみると、やはり同じように児童館に行ったけど行きたくなくなったっていう話がすごく多かったので、そこもちょっと現状を知っていただけると大変うれしいなと思っております。

あとは、体育館の話もさっきありましたが、体育館での活動はすごく子どもも喜んでいて、運動不足の子どもがすごく多いので、体育館の利用をもう少し増やしていただけるとすごく嬉しいなと、学校との兼ね合いもあると思うんですが、そこも何かしていただけるとありがたいとこ

ろです。  
以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。  
寺西様からは、4年生から6年生の受け入れの要望をいただきました。あと体育館をもうちょっと利用できたらいいかな、というような要望を受けました。  
ありがとうございました。  
続きまして桃栄放課後子ども教室、吉田先生お願いします。

吉田指導員

失礼します。  
桃栄放課後子ども教室吉田です。よろしくお願いします。  
まず1ページ目、登録者数ですが、桃栄の方は児童総数が少し減って、登録者数も少し減りました。ただ申請率だけは変わっていないと思います。  
それから2つ目の1日の平均参加者の数ですが、下の表にあります。  
先ほどずっと聞いていて驚いているのは、よそがみんな増えているのに、うちは昨年より少し少なくなっていることです。うちと変わらない状況だったところが4箇所ほどあったはずなのに、みんな大幅に増えているから、それぞれの学校の事情があるにしろ、活発にいろんなことをやってくれるのかなと思いながら聞いておりました。うちは、私の計算でいくと、今年度15・6人ぐらいになりました。  
3つ目、めあてです。  
うちの目当ては笑顔で来て、笑顔で帰ることです。もう単純なもので、特に難しいことをやろうというつもりはありません。基本的に皆さんもご存じのように、放課後子ども教室というのは、安全な場所で、自主的な学習とか、スポーツや文化或いは体験交流活動を行う、そういった居場所の提供が目標になっていますので、私たちもそれに沿って、子どもたちが様々な活動の場を持てるように努力しています。  
ただ、子供たちに2つの約束を守って欲しいことは常に言っています。1つは、自他の安全が脅かされるような行動をとらない、要するに走り回る、暴れ回ると、そういったことについては、厳しく指導しております。それから、他の人の迷惑になる言動ですね、お互いに子ども同士ですから、つついいろいろなことを言ったり口が増えたりして、相手を傷つけることはあるんですが、そういう訴えがあったときはちゃんと聞いて、それに対応しています。常日頃からそういった話は子どもたちにし

ております。

そういったものを守らせながら楽しく過ごせるように、私たちも安全面の見守りや、学習や遊びの支援、それからもうコロナ云々と言っていましたけど、皆さんも同じように、感染の防止などの活動を続けています。

そんな中で、笑顔で挨拶して笑顔で帰る、の達成を目指しております。右側2ページ、お願いします。

1日の活動状況についてですが、先ほど皆さんから出ているように、うちも入室までの間の準備に1日7～8分かかります。

そのあと出席確認、健康観察、本日の予定、諸注意を聞かせて、学習に入ります。

学習は、基本的に1年生は20分、2年生は25分、3年生はその時の宿題の量にもよるんですが、25分から30分の学習時間をとります。

まず宿題をやり、時間内に終わったらプリントや読書をします。実際これくらいの時間を与えても宿題がわからなくて終わらない子もいますので、その場合は、本人の希望によって時間を延長しても終わらせるかどうかを決めています。

あとトイレ休憩等々があり、そのあとが先ほどからいろんなところで見ます、子どもたちが楽しみにしている自由時間があります。これは学習終了からお迎えまでになります。

まず自由時間の過ごし方として、1つ目、折り紙・工作・読書なんかがあります。

一部写真に示させていただきましたのでご覧ください。鯉のぼりを作ってみたりプラバンを焼いてみたり、七夕飾りを作ってみたり、ハロウィンの作品を作ってみたりしています。

次のページをお願いします。次のページはマジックスクリーン、クリスマスのリース作りが載っています。基本的に鯉のぼりや七夕飾り、ハロウィンとかクリスマス作品は参加者全員が作りますが、そうでなくて希望者だけの場合もあります。

2つ目の自由時間の過ごし方としては、ゲームなどがあります。その様子も写真で下に示させていただきました。レゴをやってみたりプラスプラスをやってみたり、ジェンガをやってみたり、先ほどありました将棋も覚えながらやっています。ただ、将棋大会はたくさんの子がまだできるという状況ではありませんので、子供同士がやったり、或いは相手がないときは私が少し相手をしたりという状況でいます。

退室ですが、お迎えに来た保護者に出席カードを直接返して、手指消

毒をし、そして見送ります。ただ、報告事項、例えば中でトラブルがあった、或いは何か気になることがあったという場合は、必ず必要に応じて報告をさせていただいております。

1日の活動状況については以上です。

次のページ、4ページをご覧ください。

1学期・2学期の個人懇談会での様子について少しお話します。この日は、時間も長い、人数も多いということになりますので、1日体育館での運動を行います。歩いたりをスキップしたり走ったり投げたり、あとはゲーム的なものを取り入れたりします。1日目、2日目がそういう感じですが、3日目はビデオ鑑賞を取り入れています。

その下にある写真も、そういったときの状況の様子です。子どもたちはやっぱ見てみると、あんまりボールを投げてないなということや、それからスキップもなかなか踏めないなという状況がありますので、少しでもそういったところを練習する機会を与えればいいなという思いでやっております。

最後、5ページお願いします。

成果と課題です。1つ目として、今年度も教育委員会、学校、保護者の皆様のご協力により、順調に運営することができました。

また、子どもたちも、この教室のルールを守って、いわゆる事故といったそういった大きな問題もなく過ごすことができました。

2つ目、コロナ禍ではなくなりましたが、実際スタッフには、感染予防の場面では、昨年度に引き続いて、消毒等に尽力していただきました。

3つ目、今年度も多くの作品づくりの活動をしました。中にはやっぱり作品づくりが苦手な子、不得手な子、或いは好きな子など、いろんな子がいるんですが、皆この活動には一生懸命取り組む姿が伺えました。

また、自由時間の過ごす様子から見ると、目標の1つである、「笑顔で来て笑顔で帰る」の実践は少なからず達成できたんじゃないかなというふうに思っています。

最後、1つは備品についてお願いします。

実はこの教室ができて5年目になりますが、今、例えば掃除機を充電しておくとか充電器が知らないうちに切れてしまうんですね。動かすと、またついて、知らないうちにまた切れて、帰るときに動かしてもすぐ切れて掃除ができないという状況も出てきました。

それからファックスですけど、入れとくだけじゃ、もう吸い込んでいかない。誰かが押し込まないと、FAXが送れない状況というのが出てきているんです。それで、これが実際修理となると、予算面や業者面で難

しい部分がありますので、ここでの共通理解を深めるという意味で、このようなとき、他の教室ではどのように対応しているか。

おそらくこれからどこでも出てくるような問題だと思いますけど、教えていただければありがたく存じます。

以上です。よろしくお願いします。

瀬尾課長

ありがとうございました。各教室の予算の関係につきましては、学校教育課の方にご相談いただければ、こちらの方で対応いたしますので、よろしくお願いします。

桃栄放課後子ども教室の保護者の代表の久田様、ご感想やご意見などをお願いします。

久田委員

3年生の子供が1年生の頃から通っています、久田と申します。

家だと宿題がもう集中してできないからってということで、私も働いているんですけど、もうほぼ毎日、通っています。

友達から将棋を一緒にやろうと誘ってもらって、そこで本当に将棋にはまってしまって、今は私の父親であるおじいちゃんと一生の共通の趣味ができて、遊びに行くたびに将棋をやっています。

放課後教室のときも、吉田先生に相手してもらったり、あと友達と一緒にやったりして、すごく楽しんでます。あと工作なんですけど、私は、壁面に飾られているやつとか、あと表紙にあった鯉のぼりとかが並んでいるのがすごくかわいくてカラフルで、迎えに行くたびに楽しみなんですけど、子供はすごく苦手で、もういやいややっているみたいで、「俺はちょっと、嫌なんだけど」とか言いながら家に持って帰ってくるんですが、すごく愛着があるので、もうこの時期、私は飾って、その時期が終わってもうそろそろ処分していいかなっていうと、「駄目」みたいな感じで言われるので、もう今でも七夕のときに作ったやつとか、まだ飾っています。

あと迎えの時間が5分とか10分遅れてしまうときがあって、慌てて電話したんですけど、連絡したら慌てずに来てくれればいいからねって先生が言ってくださったので、安心して、慌てずに事故に遭わずに迎えに行くことができました。本当に助かりました。

4年生から部活が始まるんですけど、4年生で部活に切り替える時に、週に2回しかないの、4年生から急に暇になっちゃうと思うので、6年生まで使えると私も本当にいいなと思います。

あと、先ほど利用者が減って、桃栄小だけ少ないというお話がありましたが、私が住んでいる世帯数が多いマンションがあって、100世帯入っているんですけど、その子どもたちももう高校生とか中学生で、もう一気に卒業してしまって、私が入ったときも、もう男子班・女子班みたいな感じで、マンションに30人ずつぐらい子供がいて朝大所帯で登校していたのが、今もう1班しかなくて、12人ぐらいしかいないので、ちょうどタイミング的に、減ってしまったかなっていうのがあります。

でも建て売りとかが今どんどんできてきているので、もうちょっとじわじわ増えるんじゃないかなと思います。

なくなってしまうのはちょっと寂しいなと思っています。

以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。放課後子ども教室がなくなることはないの  
で、そこはご安心ください。

続きまして、春日放課後子ども教室の白鳥先生、お願いします。

白鳥指導員

はい。春日放課後子ども教室白鳥と申します。よろしく申し上げます。  
資料に沿って報告させていただきます。

1、指導體制。春日放課後子ども教室は女性6人のみで運営しております。基本的には4人体制で、イベントの開催日は5人から6人で行っております。

2、月別来室者数。昨年より登録者数が増え、来室者数も平均的に増えています。ほぼ毎日50人前後の子供たちが参加しております。

3、活動状況。1時半から打ち合わせをし、子供たちが来室すると、はじめに今日の予定を連絡し、宿題対応はどこよりも多分短いと思いますが、15分行っております。音読を聞いてあげるとか、計算カードの宿題は、春日放課後子ども教室では対応していません。以前はやっていたんですけども、コロナのこともあり、近くでお話しするっていうのはやめることになって、また、どうしても長い時間読み続けている子供たちがいるので、そうするとそれに指導員がちょっと手を取られてしまい、他の対応ができないっていうことが結構あって、音読がないことでスムーズに遊びに移れるっていうのもちょっと感じているので、今はもうほとんど聞いておりません。宿題が早く終わった子たちは本を読むという約束になっていまして、放課後教室においてある方はもうずっと古い本ばかりで、3年間いけば飽きてしまうと思うので、毎週10冊ほど

清須の図書館に行って、借りてきて新しい本を置くようにしております。あと、今年度は地域の方から本を60冊ほど寄付していただいて、とても助かりました。

それと宿題が終わりますと、自由遊びになります。教室遊びか、運動場か体育館のどちらか必ず行くようにしております。体育館が使えない雨の日など、自由時間が教室のみになってしまうと、60人とかいると、1教室しかないのもうすごく混み合った状態になってしまっています。それがちょっと課題かなと思います。

イベントの日は、90人とか来ることがあって宿題がやれないので、はじめにイベントを行って、ちょっとイベントが終わって子供たちが少なくなったなという時間帯にちょっと宿題をやりたい子だけやって、あとは体育館で遊ぶというふうに、どうしても宿題をやりたい子もいるので、そういう対応をしております。

あと、春日では毎月1度全員出席でミーティングを行っておりまして、指導員が時間を取って、次のイベントで何をするかとか、いろいろ問題点等共有するような時間を設けております。

あと、放課後児童クラブとの一体連携の実施についてですけれども、春日のみ去年はあったんですけれども、児童館さんがもうほとんど校庭で遊ぶということをしなくなってしまったので、交流が全くなくなってしまって、今年度は1回も行いませんでした。夏休みだけ私は児童館の手伝いに行っているんですけれども、本当にいろんな子がいて、児童館の先生の人数だと外に出すこともできないし、結構児童館と放課後の子供たちの対抗心というか、そういった部分もやっぱりあるので、だんだん減ってきてしまって、コロナのこともあり、なくなってしまったんですけれども、児童館とはちょっとお話して何か企画してやっていけたらなと思っております。

4の月別活動の内容ですが、毎月、1度はイベントを行って普段も自由工作ができるようにいろいろ工夫しております。7月の個人懇談会では、85人、90人、97人と、とても多い人数の子たちに来ていただいて楽しんでくれたのでありがたいんですけれども、やっぱり教室のみのイベントがやりきれないので学年別に分けて、1年生がやっているときは、2・3年生は体育館でというふうに、いろいろ工夫しながらやっております。体育館イベントは今回体力と知力の壁というのをやったんですけれども、腕立て伏せとか腹筋とか、いろんなカードを探してきて、宝探しみたいな感じでカードを探してそれをクリアしたら、次のところに行くというのと、あと、クイズみたいなのを答えてっていうので、ス

タンブラリーみたいな感じでいろいろクリアしていくっていうゲームを行いました。

12月の個人懇談会は、地域の方や放課後教室に参加していただける保護者の方に協力していただき、講師をしていただき、行いました。お母さんたちに教えてもらうっていうのが何かすごく楽しかったみたいで、またぜひやりたいなと思いました。

次のページは子供たちのイベントの活動等が行っております。2枚目の写真の下の方には、寄付していただいたものの写真も上げてあります。先ほどありましたが本60冊ほどと、おもちゃ等もいろいろ寄付していただいています。

5、成果と課題。今年度は、大きなけがはありませんでしたが、突き指や捻挫、転んで擦り傷を作る、友達とぶつかり鼻血が出るなど、ちょっと数えてはいないんですけどそういったけがが例年よりも多かった気がします。子供たちは危険に気づかずに行動してしまいがちですが、そういった経験を踏まえて、その都度子供たちの身の回りの危険に気づかせるように、話していきたいです。なぜ階段からその付近で遊んではいけないかとか、引っかけやすいものを身につけたまま遊んでいないか、正しい遊具の遊び方をしているか、みずからルールを守るとともに、危険に早く気づいて適切な判断をして、安全な行動をとることもできる子供に育てていきたいと思っております。予想外のけがが本当に多くて、そういうのにも気づけるように心がけていきたいなというのは、今年度本当に感じました。

けがが多くなった原因には、子供たちの運動経験不足っていうのがちょっと考えられるかなと思っております。体の動きがぎこちなかったり、道具を使ったことがなかったり、ドッジボールも予測もつかないような動きをしたりする子が結構いるので、いろんな運動をさせていきたいなっていうのを感じております。それで、来年度はコーディネーショントレーニングや、音楽をかけてリズムにのせて遊ぶなど、そういったことをやっていきたいという指導員の意見があったので、試してみたいと思います。

12月の懇談会の日に講師の方を招いて、けん玉、カチューシャづくり、デコスーツパフェ作りなどを指導していただきました。子供たちにとって初めてのことをする体験だけでなく、初めて会った方とお話して、上手にできたねと褒めていただける経験がとてもよかったです。けん玉はとても難しい技をたくさん見せていただき、初めて見る技に子供たちは感動し、やってみたい、できるようになりたいという意見があふ

れていました。そこでまたけん玉のイベントを行いたいなと思っているんですけども、けん玉の数がちょっと放課後は少ないので、今回、社会福祉協議会の備品貸し出しで、教えてくださるボランティアの方がけん玉を借りてきてくださったんですけど、放課後教室で借りたいなということでお願いしたら、公共団体は借りられないということだったので、ちょっと残念だなと思ひまして、そういった貸し出しをしていただけると助かるなと思ひます。他にも、貸し出しレクレーションの備品がすごくあるんです。指導員がやったことないような大きなゲームとか、そういうものの貸し出しもしているんですけども、放課後教室だと借りられないので、貸していただけるとありがたいなと思ひます。

あと、最後に毎年言っているんですけども、教室のカーペットがとても汚れていて、掃除機をかけると、すごく毎回ゴミが吸い上げられるなど、どうしてこんなにゴミが出るんだろうっていうぐらいの状況になってきていて、においもちょっとあるので、ぜひ換えていただきたいなと思ひます。

今後とも、子供たちに楽しいな、行きたいなと思ひていただけるような、放課後教室作りをしていきたいなと思ひております。

以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。  
春日放課後子ども教室の保護者の代表 小山様、ご感想やご意見などをお願いします。

小山委員

春日放課後の小山です。  
よろしくをお願いします。  
うちは1番上が中1で、中1の子が1年生のときから利用させていただいて、真ん中の子が今4年生なんですけど、その後も今、2年生の一番下の子も全員放課後教室に通わせていただいでいて、やっぱりドッジボールを友達としたりとか、虫を捕まえたりとか、家だけではできないことができる子供自信にもなって、すごく楽しんで行けていました。あと春日放課後子ども教室はイベントがすごく多くて、細かなものでも大きいものでも毎日のように作って持って帰ったりとか、「今日はこういうのを作って、こんなのができたよ。」とか報告してくれたりして、子供がすごく楽しんでるので、ありがたいと思ひています。

あと、やっぱりそのカーペットの汚れなんですけど、やっぱり子供だからか、足がとても臭いんですよね。また外遊びのときに、砂をつけて上がってくると、砂まみれのところを歩きながらお迎えに行かないといけないので、その辺を改善していただけるとすごく嬉しいなと思います。

以上です。

瀬尾課長

やはりどの教室でもカーペットの清掃とか、教室の清掃とかで改善の要望が出ておりますので、その辺のところはちょっと考えていきたいなと思います。ありがとうございました。

小学校の代表として、西枇杷島小学校の海川校長先生から、学校の立場からのご意見などいただけますでしょうか。

瀬尾課長

西枇杷島小学校の海川と申します。よろしくお願いたします。

本校の子供たちも大変楽しく通わせていただいています、時々見に行くんですけども、とてもいきいきとしています、ありがたいなと思っています。

子どもの数が増えているというふうにおっしゃいましたので、その点で課題が幾つかあるかなというふうに思っておりますので、また検討できればというふうに思っております。

あと1つだけ、ちょっと何て言ったらいいのかちょっとわかりませんが、学校としてちょっと困っているわけじゃないんですけども、実は、私のところも以前あったんですけども、カードを持ってきたか持って来てないかとか、それからリボンがついているかついてないかというところで、私たちの学校も、以前本来放課後に通う子を返してしまったとかそういう間違いもありまして、そういうところは学校がとても気を使うところがございます。本校のミスときもありますし、子供さんとお母さんたちの、放課後に行くかどうかの認識の違いがあるときもあって、結構学校で確認するときは、先生たちが授業を1回止めて、「ちょっと待ってね」って言って、おうちの方に連絡をしなければいけないだとか、或いはよくあるのが、今日は放課後の予定だったんだけど、家に帰してくださいだとか、家に帰る予定だったけれども放課後に行かせてくださいって電話が幾つもの1日の中にかかってくるんですけど、この情報をきちっと教室に伝えたりするのは、結構学校としてはすごく大変なんです。そうすると、本校では電話がかかってきた瞬間に、教室に電話をして連絡をしています。しかしいろんなことで伝達を忘れてしまうということもあるものですから、学校としてはそういう現状がある

ので、私たちも実際失敗していることもあるものですから、どうしても人がやることなので、やっぱりそのあたりの伝達とかにミスがないようにっていうところを、本当によく考えていかないといけないのかなっていうふうには思っているも過ぎしております。今日は共有だけさせていただくということで、お互い気をつけていかなければいけないかなと思います。

でも本当に子供たちはいつも元気に通わせていただいておりますので、いい放課後子ども教室のシステムができるといいのかなというふうに思っております。

以上でございます。

瀬尾課長

ありがとうございました。

次に子育て支援課、山田主査より何か意見等ありましたらお願いします。

山田主査

児童館、放課後児童クラブ担当をしております子育て支援課の山田と申します。

本日、いろいろ貴重なお話を聞かせていただいてありがとうございました。僕自身初めて参加させていただいたんですけども、子ども教室の先生方は本当に創意工夫をそれぞれの方が考えて、試行をこらしてやられていて、それを保護者の方もお子さんもすごく感じて、協力ができているっていうのはすごく良い関係性だなと思ひまして、いろいろ聞かせていただきましてありがとうございました。

その中でも、寺西さんはちょっと児童館の方で少しご迷惑をもしかしたらおかけしてしまったところがあったかもしれないところで、もしよければこの後終わったときにお話聞かせていただけたら、ちょっとこちら改善できる場所はしていきたいなと思ひますので、よろしくお願ひします。

その中で話もあつたんですけども、子ども教室の先生方は、夏休みに児童クラブの方にもいろいろご協力いただいている方がたくさんみえると思ひますので、本当にご協力いただき本当にありがとうございます。

またこの後お話があるかなと思ひんですけど、放課後子ども教室の1年生の前倒しの件に関しましても、いろいろご尽力いただきまして本当にありがとうございます。

子ども教室と児童館児童クラブの方でいろいろ情報共有をしていきな

がら、より良い方向に向かっていけば一番いいかなと思いますので、また今後ともご協力の方、どうぞよろしくお願ひいたします。

瀬尾課長

ありがとうございました。

それでは、議題（２）令和６年度清須市放課後子ども教室について事務局から説明をさせていただきます。

小崎課長補佐

学校教育課の小崎と申します。令和６年度放課後子ども教室について、私から説明させていただきます。着座にて説明させていただきます。

令和６年度におきましても、現在実施しています８ヶ所の放課後子ども教室は、令和５年度と同様な体制で進めていきますが、新１年生の利用開始日が変更となりますので、ご説明させていただきます。

資料の２をご覧ください。令和５年度の放課後児童クラブの利用者のうち、約３０％の児童が５月上旬までに辞退し、大半の児童が放課後子ども教室へ移動しています。そのため、４月の放課後児童クラブの利用者が多く、現在の児童館の職員では対応が困難な状況になっています。放課後児童クラブの授業が円滑に進むよう協力を図りたいため、令和６年度から新１年生の利用開始日を、給食開始からとします。令和６年度の利用開始日は、給食開始日の４月１７日水曜日からです。新１年生向けの利用申請の募集案内は、３月上旬に保育園を通して、保護者の方に配布する予定です。

申請方法ですが、清須市電子申請届け出システムから利用申請の登録をしてもらい形になります。この電子申請届け出システムは、市への申請届け出等の行政手続きを、インターネットを利用して行えるシステムです。電子申請が困難な保護者の方は、学校教育課窓口で申請してもらいます。

利用説明会は例年よりも早くなります。４月９日火曜日から４月１２日金曜日の間の午前中に、それぞれの教室単位で、新１年生の保護者の方を対象に説明会を開催する予定としております。参加できない保護者の方については、学校教育課の窓口で説明をさせていただきます。

次に、新２年生３年生の利用開始日は４月８日月曜日からです。募集案内は３月上旬に学校を通じて保護者の方に配布を予定しております。

申請方法については、先ほど説明させていただきました、新１年生と同様となります。

続きまして、令和５年度の状況で触れさせていただきました新放課後子ども創造プラン事業は、本年度が最終年度となっておりますが、放課

後児童対策の一層の強化を図るため、国より、令和5年12月25日付で、令和5年から令和6年に取り組む、放課後児童対策パッケージが示されました。

令和6年度も、放課後子どもクラブとの一体化と連携により、すべての子供が放課後を安全安心に過ごし、多様な体験活動が行える居場所づくりの推進に努めていきたいと考えております。

指導員の皆様におかれましては、この趣旨をご理解いただき、令和6年度も引き続きよろしく申し上げます。

続きまして、予算について説明させていただきます。

令和6年度の放課後子ども教室の中の需用費、消耗品費については、令和5年度と同じ財源の中で、予算積算時の令和5年度の各教室の登録数や平均利用者数に応じて、按分して、消耗品の予算を算定しました。

また、今回いただいたいろいろな要望については対応できるよう、令和7年度に向けて検討していきたいと思っております。

今後とも引き続き、子供たちの安全を第1に、ご指導をよろしく申し上げます。

私からは以上です。

瀬尾課長

只今、担当より令和6年度からの清須市放課後子ども教室について説明をさせていただきましたが、ご意見・ご質問などはございますか。

吉田指導員

確認です。今の新2・3年が、4月8日からですか。

小崎課長補佐

4月8日からです。

吉田指導員

確認ですが、新1年の下校時間は何時ごろですか。

瀬尾課長

学校の方に確認したところ、大体1時半ぐらいなので、そこは大丈夫だという返答をもらっております。

そのほかよろしかったでしょうか。特に事務局から持ち合わせている物はございませんので、以上で会を終了させていただきます。

長時間にわたり、お疲れ様でした。

以上をもちまして、令和5年度清須市放課後子ども教室運営委員会を終了させていただきます。

| ありがとうございました。

以上

○閉会（時刻：午前12時00分）